



# 房総半島 東京湾岸 ミニボートゲレンデ セーフティーガイド

出航前の  
安全チェックポイント

最低でもこれだけはこの5ヶ条

- 1 ライフジャケットは出航前から着用
- 2 燃料は満タン
- 3 他船に視認してもらうための旗を高い位置に掲げる
- 4 エンジントラブルに備えてオールを積み込む
- 5 携帯電話は防水パックに











保田海岸第一駐車場。白い建物は中央監視所とトイレ

### ③ 保田海水浴場 (中央監視所前)

鋸山の南側に位置する全長1キロ近い砂浜海岸で、夏は海水浴場として混雑する。長い砂浜海岸の中央部、保田中央監視所の前に広い無料駐車場(第一駐車場)がある。その駐車場の南側に砂浜へおりることのできるコンクリートのスロープがあり、ミニボートを運搬しての海岸へアクセスできる。管理者や監視員は常駐していないが、海水浴シーズン以外、いいミニボートゲレンデとなる。周辺の海域はシロギス、マゴチ、イサキ、ヒラメ、イカ、メバル、クロダイなど通年、さまざまな魚が釣れる。

#### 利用手順

海岸利用の届け出システムはない。車からのボートの上げおろしは駐車場でいい、横のスロープから海岸へアクセスする。

#### セーフティーインフォメーション

- 海水浴シーズンは利用できない。
- 海上には漁船、貸しボートが多いので注意。



保田海岸第一駐車場とスロープ

### ④ きよなん・ほた海の駅

保田海水浴場の南に位置する保田漁港は、「きよなん・ほた海の駅」となっており、港内、漁協事務所前の岸壁にビジターのプレジャーボート用係留浮き桟橋があり、多くのプレジャーボートが訪れる。この浮き桟橋を利用してカートップボートの上げ、下ろしができるよう急ピッチで準備が進んでいる。夏までには正式にオープンする。オープンが決まったらシステム、料金等の詳細はホームページ、雑誌等で発表される予定。港内には漁協直営のレストラン「ばんや」やマリナー、温泉などもあり、数少ない管理型のゲレンデとして、注目されている。

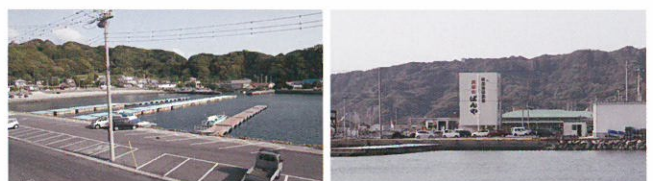


#### 利用手順

システム、料金等の詳細は夏までにはホームページ、雑誌等で発表される予定。

#### セーフティーインフォメーション

- 海漁協直営のレストラン「ばんや」の前にビジターのプレジャーボート用係留桟橋もあって、多くのプレジャーボートが海からやってくるので、港内外とも航行には十分な注意が必要。
- 車で「ばんや」を訪れる観光客が非常に多いので、港周辺の車の運転では最大限の注意を払いたい。



右: 保田漁港。現在は、この岸壁の前から伸びている浮き桟橋がビジター桟橋となっているが、夏までにはミニボート、カートップボートが揚げ降ろしできる浮き桟橋が設置される  
左: 保田漁港の一面は「きよなん・ほた海の駅」となっていて、漁協直営のお食事処「ばんや」や温泉施設が人気



## ⑤ 岩井海水浴場

南北に約3キロも続く砂浜海岸である岩井海岸の南部の久枝地区は、夏は海水浴等の観光の中心となる地区。内房なぎさライン(国道127号)を南下し、市部の交差点を右(海側)へ入り、ホテル「グランビュー岩井」の左側を抜けると海岸道路に出る。この交差点にある白い2階建ての建物が夏の間、臨時交番を兼ねる「海岸監視所」で、その正面からコンクリートのスロープが海岸へアクセスしている。スロープへの車の乗り入れはできない。「海岸監視所」横にスペースがあるが、一般車は駐車できない。近くに公共の駐車場があるので、岩井海岸は海水浴シーズン以外はミニポートのいいゲレンデとなっている。年間を通してビーチスポーツのイベントが多く開催される場所で、イベント時は利用できない。また駐車場は、海岸に沿った道路を南下すると、すぐ岩井川河口に出るが、その手前には広い駐車場があり、こちらはゲレンデに直結していて、一般車も使える。岩井海岸は魚影が濃く、年間を通してさまざまな魚が釣れるので人気。管理者の常駐はなく、届け出等の利用システムはない。

### 駐車場

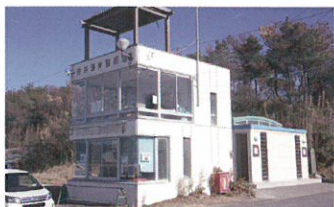
「海岸監視所」横の駐車場は利用できないが、海岸に沿った道路を南下すると、すぐ突き当たる岩井川河口の手前には広い無料駐車場があるので、こちらを利用する。この駐車場の海側に1カ所、海岸への出入り口があるので、そこから駐車場で準備したミニポートを波打ち際まで搬入できる。この出入り口から砂浜へは固い地面が砂浜へと続くが、途中大きな段差があるので、運搬にはそれなりの力は要る。トイレはあるが、水道はない。

### 利用手順

ゲレンデ利用に当たって届け出等の管理システムがない一般海岸である。車からのポートの上げおろしは駐車場でいい、スロープ、または通路から海岸へポートを運搬する。

### セーフティーインフォメーション

- 海上には漁船、貸しボートが多いので注意。
- 海岸に沿った道路は狭い割に、交通量が多いので要注意。
- 海水浴シーズンは利用できない。



岩井海岸の海岸監視所



海岸道路を南下すると岩井海岸南部、岩井川河口部北側にある広い無料駐車場。トイレはあるが、水道はない



左：岩井海岸岩井川河口部北側駐車場の海岸への出入り口  
下：岩井海岸岩井川河口部北側駐車場の出入り口から砂浜へは固い地面が砂浜へと続くが、途中凹凸しており大きな段差もある



岩井高崎海岸の無料駐車場。中央に見えるグリーンの防砂フェンスのあたりから海岸へ



岩井高崎海岸。駐車場から海岸への通路

## ⑥ 岩井高崎海岸

南北に約3キロ続く砂浜海岸である岩井海岸の南端部の高崎地区、岩井川の河口の両側に位置する砂浜が、駐車場やトイレ、海岸へ続くスロープがあり、よく利用されるゲレンデとなっている。駐車場の海側に1カ所、海岸への出入り口があり、そこから準備したミニポートを波打ち際まで搬入できる。この出入り口から砂浜へはコンクリートスロープではなく、ふかふかの砂地なので、重いボートはそれなりの労力が必要。沖ではシロギス、ヒラメ、マゴチ、メゴチ、カツオ、アジ、カワハギ、アオリイカ、スミイカ他、年間を通してさまざまな魚が釣れる。届け出等の利用システムはない非管理型のゲレンデとなっている。

### 駐車場

内房なぎさライン(国道127号)を南下し、前述の高崎地区で福栄食堂前の左に直角に曲がる交差点を直進するとすぐ岩井川河口南側の無料駐車場に入れるので、アクセスは簡単。トイレはあるが、水道はない。春～秋は地元の貸しボートが営業していて、駐車場が混むこともあるので、注意。前述の福栄食堂前の交差点を右折し、そのまま直進すると、前述の岩井海岸道路からもアクセスできる岩井川河口部北側の広い無料駐車場に入ることができる。

### 利用手順

ゲレンデ利用に当たって届け出等の管理システムがない一般海岸である。車からのポートの上げおろしは駐車場でいい、スロープ、または通路から海岸へポートを運搬する。

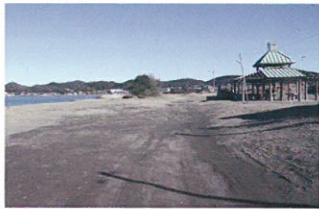
### セーフティーインフォメーション

- 海浜には貸しボートが多いので注意。
- 海水浴シーズンは利用できない。





多田良北浜キャンプ場へは駐車場からスロープで下りる



多田良北浜キャンプ場。建物は炊事棟



キャンプ場。車はできるだけ地面の固い場所に駐車する



この駐車場の中に海岸へ降りるスロープがある

## ⑦多田良北浜 (キャンプ場)

富浦湾南部（南房総市富浦町）の多田良浜北部の海岸。夏は海水浴場となる海岸で、海岸内にキャンプ場が設けられている。キャンプ場前の砂浜からボートを下せる。夏場以外は常駐する管理者もなく、ゲレンデとして利用するための特別な手続きも決められていないので、利用するミニボートも多いが、当然海水浴シーズンはエンジン付きボートは下せない。近くにお店が少ないので、必要な物は事前に準備しなければならない。大房岬突端周辺がよい釣りポイントになっているほか、湾内のあちこちにも釣りポイントがあり、いいゲレンデといえる。シロギス、ヒラメ、マゴチ、アジ、イナダ、カンパチ、カワハギ、メバル、アオリイカなど、一年を通してさまざまな魚が釣れる。

### 駐車場

海岸沿いの多田良北浜の無料駐車場から海岸へコンクリートのスロープが伸びているので、そこから車で海岸に乗り入れることができる。地面の固い海岸背後地が駐車エリアとなる。キャンプ場なのでトイレ、炊事場はあるが、キャンプで利用するとき意外は水道を使つてはいけない。

### 利用手順

ゲレンデ利用に当たってキャンプ場オープン期間以外は、利用に当たっての届け出等の管理システムがない一般海岸となる。車からのボートの上げ下ろしは海岸背後の地面の固い駐車スペースで行い、そのまま好きな波打ち際へボートを運搬する。

### セーフティーインフォメーション

- 海上は富浦港を出入りする漁船が多く、春～秋にかけては付近の貸しボート屋のボートが多数海に出ているので、航行、釣り場の選択には細心の注意が必要。
- 海水浴シーズンは利用できない。



## ⑧船形漁港

館山湾北部の漁港（第三種漁港）。管理は千葉県南部漁港事務所で、利用届をここに提出すれば、ミニボート、カートップボートを初めトレーラブルボートも漁港内のスロープが利用できる。関東圏でも数少ない管理型のゲレンデのひとつ。館山湾はシロギス、アジ、タイ、マゴチ、ヒラメ、カワハギ等、通年でさまざまな魚が釣れる魚影の濃い海域。船形漁港のすぐ北西には大房岬もあり、釣りポイントは多い。漁港敷地内にある「ふれあい市場」は、漁協直営の市場で水揚げされたばかりの魚介類や地産の海産物を売っているほか、場内に食堂もある。

### 利用手順

利用する場合は、利用予定日の3日前までに南部漁港事務所に、「船揚場利用届」をファックス又はメールで提出する。届け出用紙はインターネットでウェブページ<http://homepage3.nifty.com/miniboat/>からダウンロードできる。利用日が漁業活動等に支障がある場合はあらかじめ断られる場合もある。

利用当日は、「ふれあい市場」の事務所に行き受付し、スロープ入り口の開錠をお願いして、開錠後、指示された近隣の駐車場に車を置いて、ボートの準備をして港内南東の隅（「ふれあい市場」から50mくらい）にあるスロープにボートを運搬し、速やかに出港。帰港後は16時までにスロープから出て、再び「ふれあい市場」の事務所へ行き、施錠を依頼する。

スロープ等の施設の利用料は無料だが、地元の館山船形漁協は、このシステム維持のため漁港内の安全対策や環境保持に要する実費程度の負担(3千円)を、受け付けの際、利用者に協力をお願いしている。

### セーフティーインフォメーション

- 港内は徐航。港口は見通しが悪いので注意が必要。



ふれあい市場入口

普段はチェーンが張られているが、利用届けを出せばミニボート、カートップボート、トレーラブルボートが利用できる船形漁港のスロープ



## ⑨ 館山北条海岸

館山湾沿岸南部、南突堤のさらに南隣に位置する海岸。大きなリゾートマンション「館山シーサイドハイツ」がよい目標となり、無料駐車場の出入口もその前の内房なぎさライン沿いにあるのでアクセスしやすい。

### 利用手順

海水浴シーズンはボートの上げ下ろしは禁止されている。館山シーサイドハイツ前の駐車場は広く、ここでボートを準備し、海岸へは駐車場南端の遊歩道から、それに続くスロープを通過して運搬する。海水浴シーズン以外は海岸には防砂フェンスが設置されていることが多いが、数カ所ある切れ目から波打ち際にボートを運べる。

### セーフティーインフォメーション

- 海岸の正面は船舶徐行エリア。付近には、貸しボート屋も営業しているので、邪魔にならないよう注意
- 航行自粛エリア(アマモ生育海域・産卵場所・稚魚生育海域)……那古棧橋先端から沖ノ島を結んだ線の陸側(東側)船形漁港赤灯台と館山港北防波堤の付け根を結んだ陸側(東側)、北条海岸中央突堤の延長線から船形側(北側)で囲まれた海域。湾内にはほとんど徐航区域
- 海水浴シーズンは利用できない

## ⑩ 北条新井海岸

館山湾、北条海岸の南隣に位置する新井導流堤と、「渚の駅たてやま」との間に広がる砂浜で、海水浴シーズン以外は管理者の常駐はなく、海岸利用に際しての届け出システムもない一般海岸だが、無料駐車場があり、海岸へのアクセスもしやすいことから、これまでもセーリングボードやディンギー、水上バイク、小型ボート等のゲレンデとして長く使われてきた所である。

### 利用手順

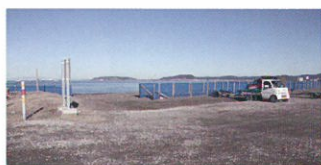
海水浴シーズンはボートの上げ下ろしは禁止されている。駐車場は広く、ここでボートを準備し、海岸へは駐車場南端の遊歩道から、それに続くスロープを通過して運搬する。海水浴シーズン以外は海岸には防砂フェンスが設置されていることが多いが、数カ所ある切れ目から波打ち際にボートを運べる。渚の駅たてやまの北隣の新井海岸がミニボートゲレンデとして適する。無料駐車場があり、駐車場から海岸へアクセスできる通路もある。

### セーフティーインフォメーション

- 海岸の正面は船舶徐行エリア。
- 海水浴シーズンは利用できない。



新井海岸



新井海岸駐車場から海岸への通路



新井海岸の無料駐車場。奥に見える建物は渚の駅たてやま



新井海岸駐車場を南から見る。右を内房なぎさラインが走る



北条海岸



北条海岸館山シーサイドハイツ前の無料駐車場



北条海岸館山シーサイドハイツ前の無料駐車場横の遊歩道が海岸への運搬遊路となる



遊歩道のエンドは海岸へつながっているが、入り口はやや凸凹の大きい斜面となっている



撮影時は防砂フェンスが設置されていたが、その脇から波打ち際までアプローチできた





# 海岸から船を出す際にとくに注意すべき点

## 天候急変の前兆・風向のシフトには敏感であれ!

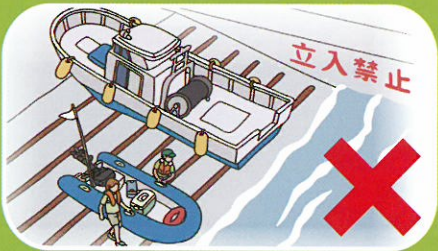


前日には最低2回以上、インターネットやテレビで目的地の天気予報をチェックし、天候や海況が悪そうであれば、翌日の出航は諦めましょう。

現場では、慎重な最終判断が必要です。現地に着いてみたら、意外に風が強かったり、波が高かったりすることは珍しくありません。気象や海況に少しでも不安を感じたら、出航を諦めるのが、正しい船長判断です。

沖に出た後も風力や風向が変わってしまうと、波打ち際には危険なほど波が高くなっていて、着岸ができなくなることもあるので注意しましょう。

## ボートの持ち込み禁止区域はダメ



ボートの持ち込みが禁止されている港や海岸からは出航してはいけません。また、漁船の揚げおろしのために整備してある海岸も使用してはいけません。

## 波にはとくに弱い



ミニボートは、波高が乾舷の高さ程度になると、走りにくくなり、波が船内に打ちこんだりして、危険な状況になります。白波が見えはじめたり、波が高くなってきたら、できるだけ早く帰航しましょう。とくに横波を受けると転覆しやすくなるので注意しましょう。

また、ミニボートは、「遠くまでいくこと」、「波の高い水面で乗ること」、「大人数が乗

ること」は前提としていないことを肝に銘じてください。

## 乗り出し禁止!



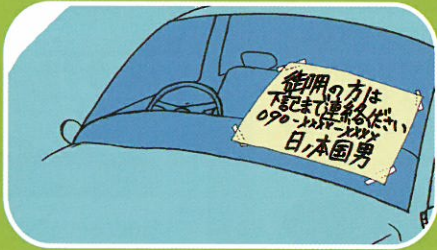
ミニボートでは船から乗り出すことは厳禁です。けっして海上の浮遊物を拾おうとしてはいけません。

## 駐車が認められている場所以外は駐車禁止!



ボートを運搬していった車は、海に出る際は必ず駐車場にとめましょう。車は定められた場所以外には駐車しないでください。

## 車には必ず連絡先を



車を置いて海に出る時は、必ず、車のフロント等に携帯電話番号等の緊急連絡先を書いた紙やカードを提示しておきましょう。

## 定置網にもやうのは、厳禁



定置網、養殖用イケスやブイは漁業用の施設です。漁具を破損させる可能性もあるので、そういった施設にボートを係留してはいけません。また、トラブルを未然に避けるためにも定置網の周囲には近づかないよう

にしましょう。

プロペラが網に引っかかってしまった場合は、船外機を止め、チルトアップし、網を切らずに、軍手をした手で外すようにしてください。どうしても外れない場合は、携帯電話等で海上保安庁に助けを呼びましょう。

## ゴミの持ち帰りは常識



ほとんどの海岸では、行政によるゴミ収集サービスはありません。地元の人がボランティアで、または自治会などが業者にお金を払ってゴミを片付けています。たとえゴミ箱やゴミ捨て場があったとしても、自分で出したゴミは必ず持って帰りましょう。

## 夜間は船を出さない!



ミニボートは他船から見えにくいので、基本的に夜間は船を出さないのが、他船に対するミニボートのマナーであり、安全航行の基本だと心得ましょう。

## 流失した場合は必ず海上保安庁に報告を!



ミニボートには連絡先を記載しておき、所有者を特定できるようにしましょう。万が一、海岸に置いておいたボートが流失してしまったときは、直ちに海上保安庁に連絡してください。無人のミニボートが海に漂っていると、海上保安庁は遭難の可能性ありと判断し、地元の漁業者と協力して、総力を挙げて付近の海域を捜索します。おおくの労力と費用をかけた無駄な捜索をさせないためにも、流失の場合は必ず連絡をしましょう。

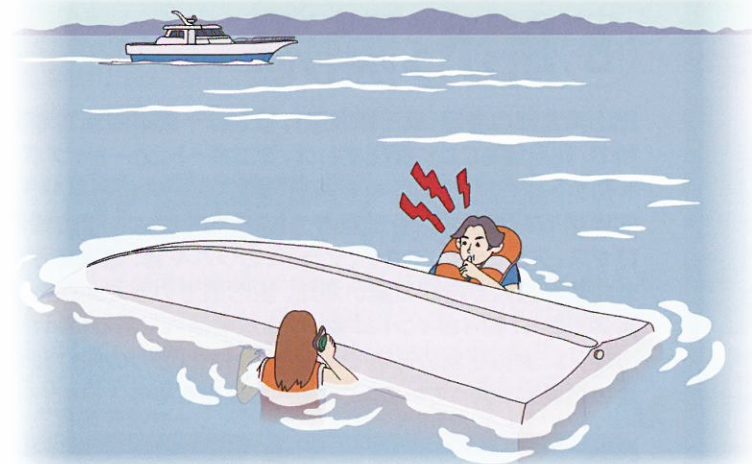


# もしもの時は、「118」番に電話を！

海上保安庁には、緊急通報用電話窓口があります。万が一、沖でトラブルに遭って、救助される見込みもなく、自力では帰着できない場合は、迷わず海上保安庁の緊急通報用電話番号「118」番に電話しましょう。

**いっぽうで、あなたには自身と乗員の安全を確保する責任があることを肝に銘じておきましょう。**

## ボートから落ちたり、ボートが転覆した場合の対処法



ミニボートの船体が完全に転覆することは稀ですが、荒天に見舞われたり、乗り方を間違えると、簡単に乗員が転落するくらい大きく傾きます。

ここでは、海上でミニボートから転落した場合や、ミニボートが転覆してしまった場合の、落水後の対処法を解説します。

適正な構造と強度を持つミニボートは通常の姿勢（船底を下にして浮いている姿勢）のまま船内が水で一杯になっても、転覆して逆さまの姿勢になっても、水面に船体の一部を出した状態で18時間以上浮かぶように作られています。

したがって、水中に落ちた人

は、浮いている船体の一部に掴まって、救助を待ってください。

ただし水中では体温が徐々に奪われていきますので、**防水パックに入れた携帯電話**で、同行している仲間の船や出航場所の管理者に連絡をとるか、余裕のない場合は、躊躇せずに海上保安庁緊急通報用電話番号（118番）へ電話してください。

漂流中、近くを船が通る時は、ライフジャケットの笛を吹くと、発見されやすくなります。

岸が見えているからと、船体を離れて岸に泳ぎだしてはいけません。ライフジャケットを着用したままだと泳ぎにくく、潮や風に流される危険があります。

## 各種情報収集先 URL

### 気象・海象情報

●沿岸情報提供システムMICS（海上保安庁）  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>

●気象庁  
<http://www.jma.go.jp/jma/>

### 各都道府県の釣りに関する規則等の関連情報

●遊漁の部屋（水産庁）  
<http://www.jfa.maff.go.jp/j/yugyo/>

### マリネジャー関連情報

●UMIちゃんねる  
<http://www.umiikou.com/>

●海の駅～海を楽しみ海を味わい海に憩う  
<http://www.umi-eki.jp/>

### ゲレンデ関連情報

●保田漁港 ばんや  
<http://www.banya-grp.jp/index.html>

●船形漁港スロープ利用法・届出フォーム  
<http://homepage3.nifty.com/miniboat/>  
（気ままな海のボート釣りHP）

### 関係団体等

●（一社）日本マリン事業協会  
<http://www.marine-jbia.or.jp/>

●（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会  
<http://www.kairekyo.gr.jp/>

●（一社）日本マリナー・ビーチ協会  
<http://www.jmba.or.jp/>

●（公社）関東小型船安全協会  
<http://www.shoankyoo.or.jp/>

●日本小型船舶検査機構  
<http://www.jci.go.jp/>

### 官公庁

●国土交通省  
<http://www.mlit.go.jp/>

●海上保安庁  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/>

●水産庁  
<http://www.jfa.maff.go.jp/>

●千葉県  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/>

●千葉県立富津公園  
<http://www.cue-net.or.jp/kouen/futtsu/>

●鋸南町  
<http://www.town.kyonan.chiba.jp/kyonan/>

●南房総市  
<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/>

●館山市  
<http://www.city.tateyama.chiba.jp/>

●千葉県南部漁港事務所  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/gj-nanbu/>

国交省では、「ミニボートに乗る前に知っておきたい安全意識と準備」という冊子を用意しています。下記のURLからダウンロードできます。

<http://www.mlit.go.jp/maritime/senpaku/miniboat/>